

## 陸側遮水壁（凍土壁）未凍結部の閉合に係る現場確認結果について

平成29年3月3日  
福島第一原子力規制事務所

### 1. 目的

陸側遮水壁山側（西側）未凍結箇所5か所の内、4か所（北側、西側②、西側④及び南側）を閉合（凍結作業）を行うことから、現場確認を行った。

### 2. 確認日時及び場所

日時：2017年3月3日（金）9:00～10:50

場所：陸側遮水壁山側（西側）のうち“北側”（1号機R/B付近）  
及び“西側②”（2号機R/B付近）

### 3. 現場確認結果

事業者では今般の凍結作業対象4か所について、2つの作業グループに分かれて凍結作業を実施することから、“北側”及び“西側②”の作業を担当するグループの凍結作業に立ち会いを行った。

当該グループの作業では、東京電力ホールディングス株式会社職員の立会いの下、協力会社作業員により1号機R/B付近の“北側”（凍結管7本）、2号機R/B付近の“西側②”（凍結管12本）の合計19本の凍結管の凍結作業が実施された。

当該作業では、協力会社作業員は凍結操作（冷却材（ブライン）の循環）に必要な凍結管入口側の弁、凍結管出口側の弁について、温度差及び圧力変動による損傷防止のため、まず微開操作を実施して徐々に冷却材を通してから全開操作を実施していた。その際、冷却材が通っていることを弁に霜が付着した状況等により確認するとともに、設備に異常がないことを目視により確認を行っていた。

### 4. 現場写真（検査官撮影）



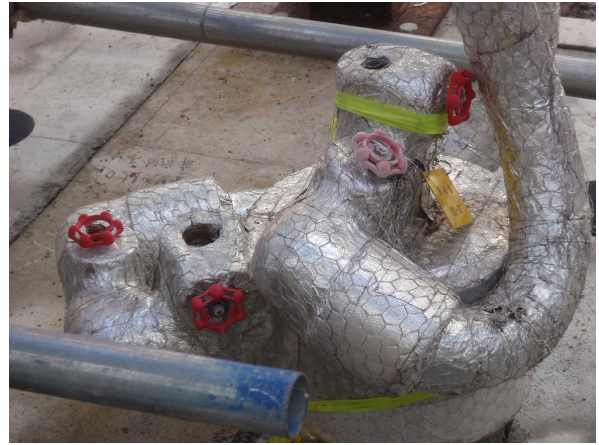
【写真1】 1号機R/B付近の“北側”全景



【写真2】 1号機R/B付近の“北側”での凍結管入口側の弁の操作状況



【写真3】2号機R/B付近の西②での凍結管入口側の弁の開操作状況



【写真4】弁に霜が付着しはじめた状況